

講義名	オ)ヨーロッパのことばと文化			
担当教員	海老原 由美子 / 田村 弘行			
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 5時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考

<b>主題と概要</b> ヨーロッパ圏の人々が話すことばについて、その特徴を学び、ヨーロッパの人と円滑なコミュニケーションをとることができる能力を育みます。さらにヨーロッパ圏を形成する社会の成り立ちや文化、人々の生活について、時に日本との関わりや日本の社会・文化への影響を、歴史的な経緯を踏まえながら総合的に学びます。そうすることで、創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材の育成を目指します。
--

<b>到達目標</b> ・ヨーロッパのいくつかの国のことばの基本的な特徴がわかるようになる。 ・ヨーロッパのいくつかの国の文化の特徴を知り、国際的な感覚を持つようになる。
---

<b>提出課題</b> 2人の教員によって講義します。各教員によって少し違いはありますが、毎回授業の最後に小テスト・小レポートを課します。気づいたこと、学んだこと、意見・感想などを提出してもらいます。
---

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b> 課題を与えた授業後、1週間後に質問などへの回答および解説をします。
---

<b>評価の基準</b> 上記の毎回の提出物で評価します。最終的に、2人の教員の成績を総合して評価します。毎回10点満点で15回、合計150点満点の点数合計を100点換算して評価を出します。
--

<b>履修にあたっての注意・助言他</b> 当科目はオンデマンドで授業を聴講してもらい、RyukaPortalで小レポートを毎回提出してもらいます。 評価の基準に書いたように、毎回が点数化されます。未提出が多ければ単位取得はかなり難しくなるので、できる限り未提出にならないように注意して下さい。毎回10点満点で15回、合計150点満点の点数合計を100点換算して評価を出します。合格は60パーセント取得ですから、例えば、欠席4回すると持ち点110点で90点を取得する必要があります。気をつけて下さい。 TV番組、映画、新聞、ネットなどで、ヨーロッパに関する情報について常にアンテナをはっていただきたい。本学のドイツ語入門、フランス語入門なども受講することがぞましい。またNHKの語学講座を視聴することもお勧めしたい。
---

<b>教科書</b> ・使用しない。					
-----------------------	--	--	--	--	--

<b>プリント資料及び参考文献</b> 各教員がその都度、Ryuka Portalの講義連絡などでプリント配布します。
--

<b>授業計画</b> 1 ヨーロッパのことばと文化概観 - 田村 - 2 フランス語の特徴1 - 田村 - 3 フランス語の特徴2 - 田村 - 4 パリの歴史と都市景観 - 田村 - 5 フランスの芸術文化と国王、皇帝 6 文化圏家フランス - 田村 - 7 フランスの歌について - 田村 - 8 香のフランス語 - 田村 - 9 首都ベルリンから見たドイツ（町と政治） - 海老原 - 10 ザクセン州ドレスデンから見たドイツ（社会と歴史） - 海老原 - 11 バイエルン州ミュンヘンから見たドイツ（食と祭り） - 海老原 - 12 イタリア語について - 田村 - 13 イタリアの食文化について - 田村 - 14 ローマについて - 田村 - 15 フィレンツェについて、まとめ - 田村 -
---

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>			
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b> ・授業で次回学習の予告をするので、そのテーマに関する情報を収集し予習しておくこと。・・・2時間程度 ・授業後に学んだ内容に関連する書物、ネット情報などを収集し発展学習に努めること。・・・2時間程度
---

<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b> 当科目は、グローバル展開科目として、海外の社会や文化をより広く深く学ぶための科目です。到達目標に記してあるように、ヨーロッパのいくつかの国のことばの基本的な特徴を知ること、(ヨーロッパの)人と円滑なコミュニケーションをとることができる能力を育み、ヨーロッパのいくつかの国の文化の特徴を知ること、日本との違いを知り、創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材の育成を目指します。
--

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b> 授業中にResponを利用し、アンケートをとることがあります。その内容を授業中に開示し考察することがあります。RyukaPortalのレポート提出機能を利用し、小レポートを提出してもらうことがあります。
--

<b>実務経験の有無及び活用</b>
<b>備考</b> 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、シラバスの修正がある場合があります。